



## 平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月12日

上場会社名 株式会社レナウン 上場取引所 東  
 コード番号 3606 URL http://www.renown.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北畑 稔  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 櫻井 慎吾 TEL 03-4521-8089  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績（平成29年3月1日～平成29年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	47,132	△0.6	9	—	263	—	321	—
29年2月期第3四半期	47,406	△5.0	△534	—	△295	—	△865	—

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 52百万円 (—%) 29年2月期第3四半期 △185百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	3.18	—
29年2月期第3四半期	△8.56	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	44,694	24,962	55.9
29年2月期	40,674	24,909	61.2

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 24,962百万円 29年2月期 24,909百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	—	—	0.00	0.00
30年2月期	—	—	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年2月期の連結業績予想（平成29年3月1日～平成30年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	△2.4	200	—	500	232.3	500	—	4.94

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年2月期3Q	101,307,449株	29年2月期	101,307,449株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	176,938株	29年2月期	174,854株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年2月期3Q	101,131,504株	29年2月期3Q	101,133,963株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年3月1日から2017年11月30日まで)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復基調が続きましたが、欧米の政治的リスクやアジアにおける地政学的リスクの高まりなどにより、先行き不透明な状況となっております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、気温低下による防寒衣料需要の盛り上がり等、回復の兆しをみせておりますが、衣料品に関する消費者の節約志向は依然として根強く、総じて厳しい状況が続きました。

このような経営環境の中、当社グループは「中期経営基本方針」に基づき、「提供価値・提供手法の磨き上げによる持続的成長」、「収益性アップと社会的課題への取組みによる企業価値向上」に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間につきましては、GMSやショッピングセンター、Eコマースにおける販売は堅調に推移したものの、主力販路である百貨店向け販売が苦戦したこと、また、前期に実施した連結子会社の株式会社ジブ・リテイリングの株式売却に伴い同社が連結対象から外れたことなどにより、売上高は前年同四半期に比べ減少しました。一方、在庫内容の改善に伴い、正価販売比率が向上し、売上高総利益率が改善しました。加えて、営業損失及び経常損失を計上していた前述子会社が連結対象から外れたことなどにより、営業利益及び経常利益は前年同四半期に比べ改善しました。また、関係会社出資金売却益を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同四半期に比べ改善しました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は471億3千2百万円(前年同四半期比0.6%減)、営業利益は9百万円(前年同四半期は5億3千4百万円の営業損失)、経常利益は2億6千3百万円(前年同四半期は2億9千5百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億2千1百万円(前年同四半期は8億6千5百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて40億1千9百万円増加し、446億9千4百万円となりました。これは、商品及び製品の増加等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて39億6千6百万円増加し、197億3千1百万円となりました。これは、短期借入金の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて5千2百万円増加し、249億6千2百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年2月期の通期連結業績につきましては、2017年4月14日発表の予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,647	10,333
受取手形及び売掛金	13,607	14,709
有価証券	24	26
商品及び製品	5,955	9,481
仕掛品	468	350
原材料及び貯蔵品	499	457
その他	4,631	3,105
貸倒引当金	△68	△62
流動資産合計	34,764	38,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,399	7,210
減価償却累計額	△6,650	△6,453
建物及び構築物(純額)	748	756
機械装置及び運搬具	1,291	827
減価償却累計額	△1,084	△705
機械装置及び運搬具(純額)	206	121
土地	962	962
その他	2,877	2,845
減価償却累計額	△2,412	△2,407
その他(純額)	465	438
有形固定資産合計	2,382	2,278
無形固定資産		
その他	600	431
無形固定資産合計	600	431
投資その他の資産		
投資有価証券	386	383
差入保証金	2,090	2,094
繰延税金資産	14	14
その他	493	1,181
貸倒引当金	△57	△90
投資その他の資産合計	2,927	3,582
固定資産合計	5,910	6,292
資産合計	40,674	44,694

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,438	6,425
短期借入金	85	2,576
未払費用	2,558	2,795
未払法人税等	301	445
繰延税金負債	73	25
返品調整引当金	876	438
賞与引当金	92	254
その他	538	155
流動負債合計	8,963	13,115
固定負債		
繰延税金負債	1	3
役員退職慰労引当金	19	20
退職給付に係る負債	5,903	5,740
その他	876	851
固定負債合計	6,801	6,616
負債合計	15,765	19,731
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	18,471	18,471
資本剰余金	23,257	23,257
利益剰余金	△16,870	△16,549
自己株式	△127	△127
株主資本合計	24,730	25,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	2
繰延ヘッジ損益	165	56
為替換算調整勘定	320	104
退職給付に係る調整累計額	△306	△253
その他の包括利益累計額合計	179	△89
純資産合計	24,909	24,962
負債純資産合計	40,674	44,694

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年3月1日 至 2016年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)
売上高	47,406	47,132
売上原価	24,768	23,619
売上総利益	22,637	23,512
販売費及び一般管理費	23,171	23,502
営業利益又は営業損失(△)	△534	9
営業外収益		
受取利息	8	4
受取配当金	0	3
受取地代家賃	254	249
その他	91	76
営業外収益合計	354	333
営業外費用		
支払利息	11	6
持分法による投資損失	22	0
外国源泉税	0	34
為替差損	39	-
その他	40	38
営業外費用合計	115	80
経常利益又は経常損失(△)	△295	263
特別利益		
関係会社出資金売却益	-	323
特別利益合計	-	323
特別損失		
減損損失	11	-
災害による損失	10	-
投資有価証券評価損	307	-
その他	39	-
特別損失合計	368	-
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△663	586
法人税、住民税及び事業税	203	265
法人税等調整額	△1	0
法人税等合計	202	265
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△865	321
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△865	321

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年3月1日 至 2016年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年3月1日 至 2017年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△865	321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	180	2
繰延ヘッジ損益	650	△108
為替換算調整勘定	△121	△210
退職給付に係る調整額	17	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△47	△5
その他の包括利益合計	679	△268
四半期包括利益	△185	52
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△186	52
非支配株主に係る四半期包括利益	0	-



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 2016年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当社グループは、衣服等繊維製品関連事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

子会社の設立及び重要な資産の取得

当社は、2017年11月16日開催の取締役会において、衣料品及び雑貨の販売、商標権の管理の拠点として、香港に子会社を設立することを決議し、RENOWN I. F. G. HONG KONG LIMITEDを2017年12月15日付で設立いたしました。また同社は2017年12月26日開催の取締役会において、固定資産を取得することを決議し、2017年12月28日付で取得いたしました。

1 子会社の設立

(1) 設立の目的

衣料品及び雑貨の販売、商標権の管理の拠点として香港に新会社RENOWN I. F. G. HONG KONG LIMITEDを設立いたしました。

(2) 設立子会社の概要

名称	RENOWN I. F. G. HONG KONG LIMITED
所在地	香港中環雲咸街60号中央広場23F
事業の内容	衣料品及び雑貨の販売、商標権の管理
資本金	300,000香港ドル
設立の時期	2017年12月15日
出資比率	当社100%

2 重要な資産の取得

(1) 取得の目的

アパレル・ファッション業界におきましては、消費者の節約志向が依然として根強く、全般的に厳しい状況が続いております。

このような経営環境の中、当社は、2017年に公表した中期経営基本方針に基づき、企業価値の向上に取り組んでまいりましたが、より一層の企業価値の向上を図るべく、主要ブランドへの選択と集中による業績向上を経営課題として認識しております。

当社の主要ブランドであるアクアスキュータムに関しては、既に商標ライセンスを付与されておりましたが、このたび、経営資源の集中を図り、年々増加するライセンスコストを削減するとともに、より積極的な投資活動を行うべく、RENOWN I. F. G. HONG KONG LIMITED が日本エリア(日本国)における商標権を取得いたしました。

(2) 契約の相手会社の名称等

名称	Aquascutum Limited
所在地	香港中環雲咸街60号中央広場23F
代表者の氏名	邱晨冉
資本金	2香港ドル
事業の内容	商標権の管理

Aquascutum Limitedは、当社と同一の親会社をもつ会社であり、関連当事者に該当します。

(3) 取得した資産の内容

資産の種類	アクアスキュータムの日本エリア（日本国）における商標権
取得価格	50,000,000 US ドル

(4) 日程

取締役会決議日	2017年12月26日
契約締結日	2017年12月26日
取得日	2017年12月28日

(5) 損益に与える影響

当該固定資産の取得による当社の当連結会計年度における連結業績への影響は、現在、算定中であり確定していません。